

1. 「地方創生拠点整備交付金」

平成28年度の国の第2次補正予算で、未来への投資に向けて、地方公共団体の地方版総合戦略に基づく自主的・主体的な地域拠点づくりなどの事業について、地方の事情を尊重しながら施設整備の取組を進めることを目的として創設された。

申請事業

①旧石川組製糸西洋館保存活用整備事業

《事業目標》

入間市の近代史を象徴する歴史的遺産である「旧石川組製糸西洋館」を改修し、貴重な地域資源として整備することで、地域の歴史を知る場や観光スポットとして市の魅力を発信するとともに、シティセールスの拠点として多様な活用を図っていく。また、収益性のある施設として活用していくことで、建物の維持管理に必要な財源確保を図っていく。将来的には他市町村や周辺の観光スポットとの連携、市民との協働事業の実施等、西洋館の特色を生かした事業を通して、市の活性化につなげていく。

《実施事業》

【本館改修工事】

魅力ある建物を将来にわたり維持していくために必要な屋根等の外部改修とともに、破損や汚れが目立つ内部空間を改修することで、ギャラリーやドラマ・CM・映画等の撮影の貸出により収益の向上を図る。また、喫茶室を整備することで、新たな来館者、施設利用者の誘致が可能となり、いま以上に人々を惹きつける施設とする。

【別館改修工事】

男女別トイレの設置、喫茶室の実施に必要な多目的キッチンを整備することで、来館者や施設利用者の利便性を高める。

2. 「地方創生推進交付金」

地方創生総合戦略に基づく地方公共団体の自主的・主体的な事業を、複数年度にわたり安定的・継続的に支援するため創設された。

申請事業

①狭山茶ブランド振興プロジェクト

《事業目標》

現在、ペットボトルによる緑茶の消費は盛んであり、緑茶カフェが人気を得るなど今までになかった日本喫茶の新たな展開も見えてきている。さらに、「COOL JAPAN」の取組もあって海外で緑茶が好まれるなど、緑茶を活用したビジネスチャンスは広がっている。

このことから歴史、文化、産業など複数の分野にわたる貴重な資源である「狭山茶」の伝統を継承するとともに、商業面、文化面などで新たな道を切り開き、市民とともに狭山茶のブランド化、地域のブランディングに取り組むこととする。また、狭山茶の魅力を発信していくことは、若手茶業者の生産意欲を喚起し、地域住民がふるさとへの誇りと未来に夢を持つことにつながるものであり、かつ狭山茶を中心とした関連産業の振興、お茶を通じた国際交流や喫茶文化の発展に伴う新たな事業を創出していく。

《実施事業》

【狭山茶関連商品開発事業】

狭山茶の生産振興につながる取組として、狭山茶を活用した商品やブランドとしての狭山茶を活用した商品を開発し、市内外に発信していくことで、地域のブランディングにもつなげていく。この取組を通じて、狭山茶の多彩な魅力を発信していく。

【狭山茶ブランド振興事業】

茶業者が、積極的に消費者と交流する取組を通じて、狭山茶の魅力をアピールし、日常的な喫茶への興味を喚起する。また、高品質な茶葉の生産を継続していくための基盤として、製茶用の機械をはじめとする技術伝承のための設備類を整備することで長期的に茶業振興を図っていく。

【狭山茶キャラバン実施事業】

狭山茶の魅力を積極的にアピールするために、「狭山茶キャラバン隊」を整備して広域的に狭山茶を知ってもらう事業を展開する。狭山茶の試飲・販売を中心に、関連商品の販売や、狭山茶に関連するイベントの開催、狭山茶を含めたお茶に関する様々な情報の提供などキャラバン隊の特性を最大限に活かした事業の展開を図る。また、新たな市場開発にもつなげていく。

②Tasty! ないるま まちづくりプロジェクト(地域の魅力アップ・魅力発信プロジェクト)

《事業目標》

昨年度「シティセールス戦略プラン」を策定し、「いるまにはTasty! な まいにちがある」をコンセプトとして掲げ、多くの人が住みたくなるまち、住み続けたくなるまちづくりを目指して、地域の魅力を発見し、それを磨き上げ、発信していくこととしている。

現在、急激な変化は見られないものの、若者世代を中心に人口は確実に減少傾向に移行してきていることから、あらためて本市の魅力を発見・創出することが求められている。これは観光面に限ったことではなく、あらゆる分野において魅力の発見・創出を進める。また、ブランディングによりそれを磨き上げ、セールスプロモーションにより発信していく。こうした取組を進めることにより、市民にはさらに定住意識を高めてもらい、市外の方には移住を考えるきっかけを提供する。

《実施事業》

【地域の魅力プロモーション推進事業】

地域ブランドとなりえる素材として「狭山茶と茶畑」「米軍ハウス」「相撲」「学校給食」「世界的に評価の高いモノづくり」などが挙げられる。こうした魅力的な素材を磨き上げブランド化するとともに、これ以外の素材の発見・創出にも取り組み、一つでも多くの地域の魅力を市内外に発信していく。

【観光ショウケース事業】

本市の魅力を発信する手法の一つとして、まちの玄関口である入間市駅や大型商業施設等をステージとして、市内外の方に定期的に魅力の一部を発信する事業を展開する。特に、駅前広場は通勤や通学、アウトレットやゴルフ場に来訪した観光客など、多くの人々が行きかう場所であり、そうした来訪者を中心として、本市の魅力をアピールすることで、本市に興味を持ってもらい、将来的な移住のきっかけづくりとする。

【魅力アップ事業】

プロモーション、ショウケースの前提となる素材の魅力アップを図るために、万燈まつりや太鼓セッション、お茶大学、ドラマフェスタといった、市民と協働で実施している様々な事業の魅力アップを図り実施する。